

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	30 (1 1)	体重測定は現在3ヶ月に1回行われているが、個別に応じた測定回数や家族への結果の報告なども検討される事を期待したい。	・利用者の状態報告に合わせて体重の増減なども報告する。	・体重測定を2ヶ月一度実施。 ・利用者様の体調の変化で、体重測定は随時行っており、状態報告と一緒に体重の増減も報告する。	1ヶ月
2	35 (13)	本体施設で備えている備蓄については運営推進会議の席や家族にも伝えることで安心にもつながる。 コンセントの埃やホーム周辺に可燃物はないか等、日々の安全チェックに努めてもらいたい。	・災害時の備蓄について、定期的に報告を行う。 ・火事の原因とならないように安全チェックを継続する。	・運営推進会議の資料の中に、備蓄内容を記入し、会議開催時やご家族へ資料を配布し確認して頂き安心できるように資料に記入する。 ・コンセント周りや電気製品、誘導灯、など毎月実施、また外の周りも確認しており、今後も継続して実施する。	1ヶ月
3	40 (15)	食事は本体施設で検食が行われている。 入居者からの食の進み方や希望食、味の感想を栄養士が聞き取る機会が持たれると良い。	・入居者の生の声を聞く機会をつくる。	・入居者の食事の様子を職員は栄養士や調理スタッフにこれまで通り継続して状態報告を実施。 ・1ヶ月に一度、栄養士がグループホームへ訪問し、入居者から生の声を聞いて参考にする。	1ヶ月
4	45 (17)	浴室の脱衣所に塗り薬や洗剤などが置いてあった為、安全面に期待したい。 端午の節句の時期には菖蒲湯も準備もされると喜ばれるので取り組みを期待したい。	・入居者の目に見えない所に収納する。 ・菖蒲湯に入り季節感を楽しんで頂く。	・入浴後、入居者の目の届かない所に収納し、安全面に配慮する。 ・冬至にはゆず湯を提供していたが、菖蒲湯も提供できるように努めていく。	1ヶ月
5	6 (5)	センサー(感知センサーを含む)を使用している入居者については、利用開始前の説明とともに書面での承諾及び経過報告が必要と思われる。	・使用する際は、書面にて説明し同意を得る。	・書面の作成 ・使用時に説明と同意を得る。 ・定期的に状態を報告し使用の可否をご家族に確認する。	2ヶ月

6	54 (20)	今後も家族の協力を得ながら居心地よく過ごせる居室環境に努めていただきたい。	・継続して居室の環境を整える。	・入居者、ご家族の希望も取り入れながら環境整備に努める。 ・着慣れた服など、気に入った服等ご本人にも選んでもらう。	2ヶ月
7	2 (2)	他の法人施設には地元中、高校の生徒が体験学習に訪れており、ホームにも来所のきっかけがあればよいと考える。	・同法人への体験学習の予定が入った際、グループホームにも来所できる機会を作る。	・運営委員会で、体験学習について連絡があった際、母体施設側と相談し来所できる時間を計画に入れてもらう。 ・施設見学や内容についても学んでもらう機会を作る。	3ヶ月
8	36 (14)	接遇委員会による7項目の接遇マナーアンケートについては、あまり活用されていなかった。	・ご家族の方へ定期的に伺い、より良い施設となるよう積極的に協力を頂いていく。	・面会時にアンケート用紙への記入をお願いする。 ・アンケート内容を定期的に運営推進会で報告する。	3ヶ月
9	49 (18)	身近な外出の機会として継続して欲しい。	・外出の機会を継続する。	・近場でも花をみたり、天気の良い時に散歩するなど、少数でも積極的に外出の機会を作る。	3ヶ月
10	4 (3)	運営推進会議が地域との情報交換や問題提起の場として機能している。今回の外部評価の受審や結果については引き続き報告を期待する。	運営推進会議の中で受審結果を報告する。	・課題について目標達成計画江お提出後に運営推進会議で報告する。 ・会議資料をご家族へ送付し、結果を報告する。	4ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。